



防衛医大病院広報誌 第8号 発行日令和4年5月27日
 企画・編集 防衛医科大学校病院 患者支援センター
 発行責任者 塩谷 彰浩
 住 所 〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2
 TEL 04-2995-1511

まもる 防衛医大【護】通信

救急部紹介

防衛医大救急部は、岡田芳明先生が1978年10月に助教授として防衛医大に着任した時から、その歴史が始まります。救急部として独立したのは1987年に故・三村一夫先生が初代教授として着任してからであり、2代目の教授が故・岡田芳明先生ということになります。その後は、阪本敏久先生、池内尚司先生が教授として救急部長を務められて、現在に至っています。救急部は自衛隊医官教育の要ともいえる救急教育を担当しており、地域の3次救急医療施設としての臨床、防衛医大医学生・医官・看護師（官）・地域の救急隊員・救急救命士の教育・研修を実施するとともに、防衛省のアカデミーとして救急医学研究などの学術活動を行っています。田中良弘教授、清住哲郎教授をはじめとして、現在は教官が総勢7名、専門研修医8名、初任実務研修医7～8名が所属しています。下記に救命ICUの写真と、卒業生の救急部専攻人員の期別推移を示しました。近年、救急を専攻してくれる卒業生・医官が増えているのが最も嬉しいことなので呈示させて戴きました。防衛医科大学校病院の診療科として今後も貢献していく所存ですので、どうぞ宜しくお願いいたします。

救急部部长：齋藤大蔵



現在の救命ICU



防衛医科大学校卒業生の救急部専攻人数推移

期別	専攻者人数
1	1
2	0
3	0
4	1
5	0
6	2
7	3
8	3
9	3
10	4
11	0
12	1
13	2
14	1

期別	専攻者人数
15	0
16	0
17	0
18	1
19	2
20	2
21	3
22	0
23	1
24	0
25	0
26	1
27	1
28	0

期別	専攻者人数
29	0
30	1
31	2
32	0
33	1
34	0
35	1
36	5
37	2
38	2
39	3
40	2
41	5
42	3

形成外科紹介

形成外科教授：東 隆一

いつも防衛医大病院形成外科をご愛顧いただき有り難うございます。

2022年4月に清澤智晴から形成外科部長を引き継ぎました東 隆一（あずま りゅういち）と申します。形成外科は顔、手、その他体表面に生じたキズ、形態異常、機能異常を主に手術によって治療する診療科です。

当院にご依頼いただけるのは次のような疾患です。

- ① 良性腫瘍・母斑（ホクロ、粉瘤、アザ）
- ② 外傷（手の骨折・変形、腱断裂、神経断裂、顔面骨折）
- ③ 皮膚軟部悪性腫瘍（皮膚がん、軟部肉腫、外陰癌）
- ④ 瘢痕（傷あとのひきつれ、ケロイド）
- ⑤ 眼瞼の異常（眼瞼下垂、逆さまつげ）
- ⑥ リンパ浮腫
- ⑦ 乳房再建
- ⑧ 治りの遅いキズ、足壊疽（糖尿病や加齢による足のキズ）
- ⑨ 先天異常（唇裂・口蓋裂や多指症、耳の変形など）
- ⑩ その他（顔面神経麻痺、腋臭症、性器の異常、臍や腹壁のヘルニア）

当科では、大学教員5名、大学院生4名、専門研修医4名の診療体制を取っております。

基本的にすべての医師がすべての疾患に対応できますが、例外として、乳房再建は東教授、手の外科は會沢講師、リンパ浮腫は土屋講師の診察日に紹介いただけますとスムーズです。美容医療につきましては、関連医療施設で行っておりますのでお問い合わせください。

防衛医大 外来担当

検索



現在コロナ対応のため、特に入院治療をお受けするのが難しく、大変ご不便をおかけしております。急ぎで入院が必要な患者さんには関連医療施設などの総力を上げて対応いたしますので、まずはご連絡をいただけましたら幸いです。

診療・入院のご依頼は 地域医療連携センターを通じてお願い致します。

連絡先は代表電話04-2995-1511です。夜間は同じく代表電話から形成外科当直を呼び出してください。

その他ご相談などは形成外科医局直通電話 04-2997-5156 にお気軽にどうぞ。



市民講座を開催致しました

日時 令和4年2月3日(木) 15時～16時

場所 防衛医科大学校病院 会議室

テーマ・講師 「脂質異常症について」 抗加齢血管内科 佐々木 誠先生

「知っておきたい大腸がん」 下部消化管外科 梶原 由規先生

佐々木先生からは、脂質異常症(高脂血症)の診断基準やなぜコレステロールが高いと問題となるのか、脂質管理の目標値、治療の基本はまずは生活習慣の見直し・改善が重要である事を教えて頂きました。

梶原先生からは、2020年1月25日に発刊された「患者さんのための大腸癌治療ガイドライン2022年版」を基に、大腸がんについての症状や進行度、検査や治療方法の説明がありました。早期発見が出来れば内視鏡治療で完治出来る病気であり、40歳を超えたら定期健診を1回/年受ける事の大切さを教えて頂きました。

当院としては通算2回目の市民講座となり、脂質異常症や大腸癌などは、誰しもが普段から何かと健康番組等でも取り上げられるテーマに近い内容でもあることから、ご参加いただきました

皆さんの中にはメモをとって真剣に聞いて下さる方もいらして、興味深く聴講して頂いているように拝見致しました。早期症状や日常生活のあり方、異常を感じたら早期に医療機関に受診をして頂く等共通点も多かったように思います。

アンケートの結果からも『良い話が聞けた』『参考にしていきたい』『気をつけるポイントが理解できた』等、好評を頂きました。日頃から健康についての関心が高い方々のご参加だったようでもあります。

アンケートの中で当院の市民公開講座をどこで知り得たかとの問いには、院内が約40%、院外が約50%、ホームページ0%でした。国の病院ですので広告にかける予算はありませんので広報の手法について検討すべきところではありますが、ホームページ0%というのは普段から当院への関心がないと読み取れますので、当院への関心の一助として市民公開講座が位置づけられようになりたいと感じられました。

今後の講演テーマについては、今回ご参加いただいた方々のアンケートで具体的な御意見がありましたので、令和4年度の市民公開講座の参考にさせて頂きたいと考えており、感染症呼吸器内科及び整形外科での実施を8月下旬から9月頃で予定しています。テーマは未定ではありますが、当院の市民公開講座が地域住民の皆様の健康増進等の一助になりますよう、務めて参ります。



抗加齢血管内科 佐々木 誠 先生



下部消化管外科 梶原 由規 先生

病院理念

高度で安全な医療を提供しつつ地域医療並びに自衛隊の医療・衛生活動に貢献し、優れた自衛隊医官・看護官等を育成します。

基本方針

- 1 患者さんの視点に立った、安全で良質な医療を提供する
- 2 地域医療機関と密に連携し、地域に貢献する
- 3 高度で先進的な医療を提供する
- 4 地域の中核として救急医療を実践する
- 5 新興感染症に対して敏速対応できる体制を整える
- 6 災害対処能力の向上に努める
- 7 使命感をもち、優れた臨床能力を有する医官・看護官等を育成し、自衛隊医療に貢献する

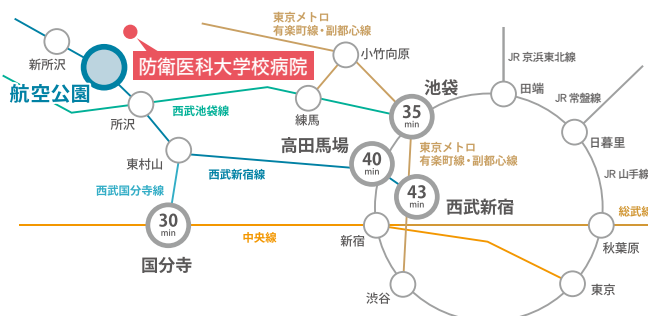
【初診予約についてお願い】

当院の精神科、脳神経内科、膠原病内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、泌尿器科（泌尿器科一般・尿路腫瘍）、泌尿器科特殊外来【尿道狭窄症・尿失禁（男性）】、消化器内科特殊外来（脂肪肝炎）の初診外来は完全紹介予約制とさせて頂いております。

上記診療科初診希望の患者さんを紹介頂く場合は、医療機関の皆様から当院地域医療連携センターへFAXにて初診予約をお願い致します。患者さんからの予約は受付しておりません。ご理解・ご協力を宜しくお願い致します。また暫くの間、膠原病内科と感染症呼吸器内科は診療体制的に初診予約を中止させて頂いておりご迷惑をおかけ致します。

地域医療連携センター（初診予約・病状照会等連絡先） 内線 3043・3882 FAX04-2995-1130

アクセス(交通のご案内)

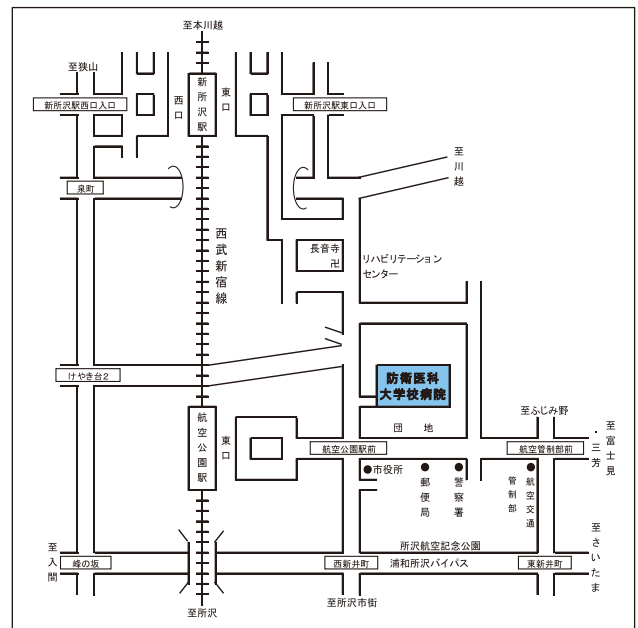


●電車でお越しの方

西武新宿線「航空公園駅」下車徒歩5分

●車でお越しの方

浦和所沢バイパス「西新井町」交差点を右折し約600m



医療連携の連絡先

地域医療連携センター
初診予約、緊急入院・受診、
セカンドオピニオン、病状紹介等
TEL：04-2995-1511
内線 3043・3882

患者支援センター
退院調整、在宅調整、医療福祉相談、
がん患者相談等
TEL：04-2955-1511
内線 6123～6126